

# 氣 Kyokushin Karate 2012.9 武

◇港支部ホームページアドレス◇  
http://karateman.jp

志田道場 六本木・新橋・田町 師範 志田清之

## 秋季昇級昇段審査会のお知らせ

◎日時 2012年9月29日(土) 12時30分～

◎会場 六本木道場

〒106-0032 港区六本木4-9-5-ISOビル8F

TEL03-3459-9998(問い合わせ用)

●審査の申し込み締め切り日9月27日(木)

●新橋道場追加審査日:10月1日(月)20時～

●六本木道場追加審査日:10月2日(火)20時～

※追加審査会対象者:白帯～8級

(注)昇級審査受審資格 合宿参加規定回数が変更になりました。

○黄帯→緑帯 1回 ○緑帯→茶帯 1回 ○茶帯→黒帯 1回

あまり稽古が出来ていないからといって躊躇している方もいると思いますが、まだ審査会まで時間はあります。皆さん頑張ってください。



**島谷さん 20代 会社員(自分で決めていただけだった)**  
・自分が限界だと思っていた(あるいは作っていた)レベルを超えたように感じます。

・リミッターを外して一段階次のステージに行けると感じます。

・さらなる成長を目指して日々の稽古に励みたいと思います。

**佐藤さん 30代 弁護士(次元上昇)**

・全力で出し切りました、今日でまた1つ次元を超えることができました。

・これからは自己の向上のみならず、周りの人にも貢献できるように、日々精進していきたいと思っています。



**柴田さん 40代 会社役員(胆力養成)**

入門した動機は胆力、気力がにぶったのではないかと悔しい経験からです。師範が心理学を分かりやすく話される意識と無意識のメカニズム、現実と気持ちの関係性、不安と恐怖のコントロール方法(心理スキル)は部下への指導に参考にさせていただいております。

**楢田さん 30代 会社員(挑戦と達成)**

久しぶりに審査会に挑戦できて良かったです。最初はどうかと不安でしたが最後まで心と肉体の次元を上げたいと頑張りました。終わった時はとてもいい気持ちになりました。精神的にレベルがあがったように思います。今回、自分でも満足しております。



## 志田道場年間スケジュール

- 第7回港カップ:10月7日(日)
- 秋のバーベキュー:10月28日(日)
- 六本木道場稽古納め・納会:12月18日(火)
- 新橋道場稽古納め・納会:12月19日(水)
- 冬季昇級審査会:12月22日(土)
- 年末年始休暇:12月26日(水)～2013年1月4日(金)



## 無料体験入門キャンペーン

空手に興味にはあるけど、怪我をしないか...空手と聞くとキツイ、危険、怪我といったイメージがあるようですが、六本木・新橋道場会員さんの90%があなたと同じビジネスマン・OLの方々です。その中でイメージされる選手コースの方は5%弱です。残りの95%以上の方が精神鍛練、ダイエットなどご自分のペースで稽古を楽しまれています。一度、体験クラスへ参加してみてもどうでしょうか?全くの初心者の方に合わせた運動量で行います。道場HP「体験トライアルフォーム」からお申し込み下さい。

## 自信・勇氣・不動心(審査会を乗り越えて)

**岡田さん 消防士 40代(自信、達成)**

今年で41才になり年々身体が言うことを聞かなくなっていく中で、何とか今回も最後までやり抜くことができました。少しずつではありますが空手らしくなってきたのではないかと、最近思えるようになりました。今回もやる抜くことができましたので、一つ自信にすることができました。今後も、この少しの自信を積み重ねていきたいと思っています。



**坂田さん 30代 営業(限界は自分で決めていた)**

今まで出したことのない気合を出せたのは自分の中で決めていた限界を審査会という中で、超えられたからだと思います。道場の仲間がいてこそ、限界を超えられたのを実感できました。今後も日々の稽古にはげみ、自分の限界を少しでも超えていけるようにしていきたいと思っています。

**徳田さん 40代 公務員(嫌だった自分を)**

○心底から声を出し自分のために頑張ることができました。

○頑張った自分を少し誉めてあげたいと思います。

○もっともっと自分の事が好きになれるように!



## 道場生の声

**五十嵐さん 40代 大病を乗り越えて**

昨日、道場に半年振りに復帰し、照れながらも押忍!と道場の入り口で挨拶をした際、声が震えるような嬉しさが急激にこみ上げて来たのをまじまじと覚えています。9年前の手術の直後は、ジェットコースターに乗るだけでフラフラになったり会社での2時間程度の残業でグッタリしてしまう体力しかない状況でした。その後も過去の病気を言い訳に色々な困難から逃げる自分がありました。そんな中、伴侶に恵まれ、そして子供まで恵まれ、家族を支えるためにも、そんな弱い自分と決別したいと思い、5年前に入門しました。入門同期の方々次々と黒帯、茶帯と急成長されていき、一方で私は帯をひとつ上がるのに2年近くもかかり、自身の成長の遅さに歯がゆさもありましたが、師範のおっしゃる「自分至上最強の空手家」の考えをもとに、一歩進んでは二歩下がるような成長ではありましたが、自分の小さな成長に喜びを感じ、無理をしないように稽古し、鍛えてきました。昨年末、病気の再発が発覚し、今年2月に手術を行い、手術後の苦痛、社会復帰後の体力衰えによる苦労はありましたが、淡々と業務をこなすように、前向きな気持ちを失わず、自分の内なる力を信じ、今日まで着実に進んできました。家族、友人、同僚は、私がいかに冷静な状態にしていることにびっくりしていましたが、私自身、師範に教えていただいた空手の考え方を実践しているからだと思います。そして、昨日ついに稽古に復帰するところまで、たどり着きました。休会期間中に、師範より頂きました励ましのブログや道場の方々に頂いた励ましのメールは、本当に嬉しかったです。ありがとうございました。